



おおしま

大島小学校だより
第437号
令和7年4月15日



令和7年度 第29回入学式

令和7年4月9日(水)

- ・新入生2名
- ・在校生24名
- ・令和7年度児童数26名



元気に入場



代表児童による歓迎の言葉



後援会長から記念品贈呈

不易流行

校長 小島 淳

令和七年度がスタートしました。「みんなで笑顔になる学校」を学校経営方針とし教育活動を進めてまいります。▼松尾芭蕉の弟子の向井去来は、著書「去来抄」に、芭蕉の言葉「不易を知らざれば基立ちがたく、流行を知らざれば風新たならず」を記しています。「変えてはならない伝統やしきたりを知らなければ、基礎が成り立たない。時代の変化に沿った新しいものを知らなければ、新たなものは生まれない」という言葉は、滑稽な表現で遊戯性の高かった俳諧を和歌にも劣らぬ芸術に押し上げた、芭蕉の俳句に向き合う精神を示しています。▼三味線は、江戸時代に普及しました。三味線の不易とは、基本奏法と形状です。流行は長唄、民謡等の音楽に合わせた奏法の変化と、津軽三味線のような大型化や材質の変化です。三味線奏者の駒田早代氏による、「紅(X J A P A N)」のカバー演奏の動画を見ました。津軽三味線全国大会優勝といった確固たる演奏技術(不易)の上に、ヘヴィメタルのビート感を表現する演奏(流行)は圧巻です。和楽器の新たな魅力と可能性がそこにありました。▼「基礎学力」「倫理観・道徳観」「探求心・創造性」等が学校の不易です。流行は、予測困難な未来を生きる力を付けるために行う「対話のある学び」「ICTの活用」「考え議論する道徳」等です。教職員は、不易流行の精神で教育活動を進める責任があると考えます。▼大島小学校は新しい風として、二つの新たな取組を行います。一つは、「MKB7(メディアを消して勉強しよう七日間)」と「よつばフェスタ」を終了し、「学力パワーアップ週間」「生活リズムリセット週間」「キラキラよつば旬間」を新設します。もう一つは、「文化祭」を「大島きらきらフェスティバル」とコラボします。「あした大きく」という不易の理念を大切に、子供たちの成長のためにできることを考え、教職員一丸となり教育活動の推進と改善に努めてまいります。